

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 「中山道ぎふ17宿」観光推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光資源活用課 観光コンテンツ係

電話番号：058-272-1111(内3932)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000千円 (前年度予算額： 5,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
要求額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では「中山道ぎふ17宿」を全国に通用するふるさと自慢として「岐阜の宝もの」に認定し、「地歌舞伎」と併せて、「中山道・地歌舞伎観光推進事業」として一体で観光資源化に向けた磨き上げに取り組んできたところである。

今後は、民間主導で中山道の魅力発信、周遊観光につながる取組みができるよう支援していく必要がある。

そのため、県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である(一社)岐阜県観光連盟がその舵取り役となり、富裕層を中心に全世界に広がりを見せているNFT(非代替性トークン)に感度が高い人々等が参加するWEB上のファンコミュニティを構築するとともに、AR技術等を活用したイベントを実施するなど、新たなテクノロジーを使って世界中の人々にぎふ中山道の魅力を届け、足を運んでもらう取組みに対し支援を行い、観光振興、誘客促進を図る。

(2) 事業内容

- ① ファンコミュニティの運営事業
 - ・Discordを活用したコミュニティを開設・運用(英語・日本語)
- ② AR技術やブロックチェーン技術を活用した誘客推進事業
 - ・AR(仮想現実)を活用し、現地に訪れた観光客にNFT(偽造できない所有証明書付デジタルデータ)を配布

(3) 県負担・補助率の考え方

国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用（補助率 1 / 2）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	AR技術等を活用したプロモーション、ファンコミュニティ構築
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

（人を呼び込み、地域の消費を拡大するために）

岐阜県観光振興プラン

(2) 事業主体及びその妥当性

「中山道ぎふ17宿」は県が認定した「岐阜の宝もの」であり、これまでの取り組みにより一定の成果が得られたと考えられるため、県が国の交付金事業を活用し、今後は県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である（一社）岐阜県観光連盟が中山道沿道の地域の舵取り役となり、事業主体として実施することが妥当。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	「中山道ぎふ17宿」観光推進事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟 （理由） 中山道を民間主導で自走化させるためには、県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である（一社）岐阜県観光連盟が中山道沿道の地域の舵取り役となり、事業主体として実施することが妥当。
補助事業の概要	（目的） 岐阜の宝ものである「中山道ぎふ17宿」の各種プロモーションやファンコミュニティの構築等、に取り組むことで、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。 （内容） ①「中山道ぎふ17宿」のプロモーション ②「中山道ぎふ17宿」ファンコミュニティの構築
補助率・補助単価等	定率 （内容） 補助率10／10 （理由）
補助効果	中山道沿道への観光入込客数の増加
終期の設定	終期 令和7年度 （理由） 事業開始から3年後を目途に終期を設定

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>「岐阜の宝もの」である「中山道ぎふ17宿」プロモーションとファンコミュニティの構築により、本県における周遊滞在型観光の振興を図るとともに、滞在時間・宿泊日数の拡大、観光消費額の増大を図る。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	0	4,967	4,974

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	「中山道ぎふ17宿」沿道と宿場を中心に、周辺の観光資源を組み合わせることによる周遊性の向上、地域色ある着地型商品の充実や受入環境の整備に取り組むことで、観光消費額の拡大に繋がった。
	指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6 %
令和4年度	「中山道ぎふ17宿」沿道と宿場を中心に、広告宣伝、ウォーキングイベントとのコラボレーション、旅行商品造成に取り組むことで、にぎわいの創出と周遊性の向上、観光消費額の拡大に繋がった。
	指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6 %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	「岐阜の宝もの」である中山道ぎふ17宿と周辺の観光資源を観光誘客拡大、観光地としてのブランド化を推進するために必要である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	「岐阜の宝もの」である中山道ぎふ17宿の観光地のブランド化を推進するため、県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である(一社)岐阜県観光連盟が舵取り役となり、滞在型の周遊観光につながる取り組みに対し、支援を行い、観光振興、誘客促進を図ることは有効である。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 限りある予算の中でいかに効率的な事業を展開していくかが課題。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「中山道17宿」を活用したプロモーションやコミュニティづくり等を実施することで、自走化に向けた支援を継続する。</p>
